

DIFAR 通信

発行 NPO 法人 DIFAR 事務局 発行日 2014 年 1 月 15 日 VOL. 16



バジェ・グランデから、プロジェクトの活動報告が届きました!

演劇を使って子どもたちや保護者にリサイクルの大切さや、ゴミ分別の方法について理解を深めてもらう講習会を行いました。バジェ・グランデ初のゆるキャラ“ZORRRO (ソロ=キツネの意)”は子どもたちに大人気 (2~3 頁参照)

今号のもくじ

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 “ZORRRO”は人気者 | 5 今後への期待 瀧本里子 |
| 2&3 バジェ・グランデ リサイクルレポート No.2
DIFAR インターン 浦田広美 | 6 森の音楽祭/堆肥作り講習会 |
| 4 JICA 研修で学んだこと フロライン・デルガディーゴ | 7 2014 カレンダー/コラム 井出教子 |
| | 8 HP 開設 / 事務局より |



DIFAR とは、ボリビアで使われているスペイン語 Desarrollo Integrar de la Familia 「農村生活の総合的な発展」の頭文字です。ディファルと読みます。



バジェ・グランデ市リサイクルレポート No. 2
～ “ごみリサイクルプロジェクト” 半年経過の活動報告～

DIFAR インターン 浦田広美



2013年9月末から6ヶ月間、DIFARのインターンとして、ボリビアのバジェ・グランデ市に着任しました。

現在バジェ・グランデ市では、2年前からこのプロジェクトに関わっているサバ、10月に日本へ研修に行ったフロイラン、私と同時期に仕事を開始したりセ、

教員過程で学ぶ学生ボランティアが数名、そして毎月バジェ・グランデとサンタクルス市を行き来している里子さん...と、たくさんのメンバーでプロジェクトが実施されています。(写真は保護者向けの講習会で話をする著者) プロジェクトメンバーは皆とてもやる気があり、そして仲がよく、いつもいい雰囲気の中仕事ができることをとても有り難く思います。

9月から11月まではバジェ・グランデ市内の全ての高校や小学校、幼稚園で生徒と父兄を対象に3Rに関する講習会を行いました。小学校での講習会では、今回のプロジェクトのために作られたマスコットキャラクター・“ZORRO(ソロ)”も同行し、子供たちが楽しみながら学べるよう工夫しています。(表紙の写真をご参照ください)

ZORRO というネーミングは、“きつね”を意味するスペイン語“zorro”と“3R”をもじったものです。講習会に参加した高校生が考えてくれました。モデル校ではペットボトルの回収や、生徒が毎週生ごみを集めて堆肥を作る活動も行われ



ています。ポイ捨ての習慣がすっかり定着している生徒たちに、ごみはごみ箱に捨てるように話をし、校内清掃活動も行いました。(上の写真は校内清掃活動)

他にも同時期に、市場や各事業所、病院、市役所などでごみ分別に関する講習

会を行いました。各事業所や学校の父兄向けの講習会では、プロジェクトに対する様々な意見を聞くことができる良い機会です。バジェ・グランデ市民は、いつもごみの問題を深刻に悩んでいて、「やっとこのようなプロジェクトが開始されて嬉しい」、「このようなプロジェクトを待っていた」、「協力していきたい」という声が毎回聞かれる一方で、「分別するのは手間がかかりそうだ」と言う声もあり、その際には丁寧な説明を行って、理解してもらえるように努めています。

11月には4色の分別用ごみ箱が市の広場と市役所に設置されました。各事業所や病院などにも設置を呼びかけて、これから徐々にバジェ・グランデ市内での分別回収を進めていく予定です。

そして12月からは、堆肥作りのいくつかの方法を試しながらベストな堆肥作りができる方法を研究しています。ですが、雨期がはじまり、強い雨で現在の仮の堆肥場の屋根のテントが破れてしまうなどのハプニングもあって、なかなか予定通りに事が進まないのが、なんともポリビアらしいです。リサイクルセンターの建設が今月から始まる予定で、竣工とともに生ごみを回収する家庭も増やしていきます。バジェ・グランデの市民もプロジェクトメンバーも、来年の竣工を心待ちにしています。

12月18日には、バジェ・グランデのプロジェクトスタッフ5名が以前のプロジェクト実施場所であるコマラパ市を訪問し、これまでのコマラパでの活動についての説明を受け、意見交換を行いました。(写真・一番右がイポリトさん、右から二番目がフロイランさん) ちょうどバジェ・グランデのフロイランさんとコマラパのイポリトさんが日本の研修から帰ってきたばかりのタイミングで、それぞれの研修で学んだことについて情報交換を行いました。

一日の終わりには、これからお互い情報を交換し協力しながら活動を行って行こう、と固い握手をかわしました。どちらの市も、ポリビアの中で先駆けてリサイクルのプロジェクトを行っているという誇りが、プロジェクトメンバーの顔からうかがえました。



～ 日本での研修に2名が参加しました ～

2013年9月から1か月半、中部 JICA（名古屋）で行われた「3R 研修会」にバジェ・グランデ市役所職員のフロイラン氏が参加しました。また、11月から1か月間九州で行われた「コンポスト技術研修会」にコマラバ市役所職員のイポリト氏が参加しました。フロイラン氏の研修レポートの一部と瀧本里子さんのコメントを紹介します。（レポート全文は DIFAR のホームページに掲載しています）

ボリビアから日本へ～JICA 研修で学んだこと～

バジェ・グランデ市役所職員 フロイラン.C.デルガディージョ

日本を訪れてまず感じたことは、日本はものすごい技術大国であるということです。また街がとても清潔で、人々が責任をもってゴミの始末をしているのが印象的でした。人々はとても優しく、行く先々で親切を受けました。DIFAR の事務局にもお邪魔しましたが、まるで自分の家にいるかのような気持ちになりました。



廃棄物処理に関する講習会では、廃棄物処理のための様々な技術や知識について学ぶとともに 3R についても理解を深めました。今回学んだことは、バジェ・グランデの市役所の仕事に応用でき、処分場に捨てられる廃棄物の量を減らすことができると考えています。特に橋本力男先生から学んだ生ごみ堆肥化の技術は非常に有用です。現在バジェ・グランデ市の廃棄物のうちの 54% は生ごみです。生ごみを堆肥化してリサイクルできれば、廃棄物は半減します。さらに農地の土壌改良もできます。バジェ・グランデは野菜や果物の生産地なので、このプロジェクトが上手くいけば、人々の生活向上に大きく貢献するでしょう。

研修後、私は廃棄物処理というテーマがいかに重要なものであるかを以前にも増して感じています。廃棄物の不適切な処理は、公害を引き起こす可能性もあるという点も気がかりです。バジェ・グランデでも今何か行動を起こさないと、いずれ市全体が深刻な病気に悩まされるかもしれません。

道端にゴミの落ちていない、清潔で美しいバジェ・グランデを現実のものにできるように、生まれ故郷に貢献したいと考えています。もちろんそれを実現するのは

大変な事でしょうが、努力と献身そして継続によって、私たちは美しいバジェ・グランデをつくっていくことができると信じています。

今後への期待

瀧本里子

フロイラン氏は28歳。とても真面目で優しいのですが、控えめな性格で意見を求めても「いいと思う」が彼のお決まりの答えでした。今後しっかりと彼自身の意欲と考えを持ってプロジェクトに取り組んでもらいたい、と市長さんと話し合った結果フロイラン氏を日本の研修に送り出す事になりました。

飛行機の旅はおろか、バジェ・グランデから殆ど出たことがない彼は、研修参加の知らせを受けてからも日々の仕事をやっているのみで、パスポートも取っていませんでした。このままでは、出国書類が間に合わず日本に行けないかもしれません。私が「バスでサンタクルスに行くのとはレベルが違うんだから、今すぐにサンタクルスへパスポートを取りに行って！」というと「サンタクルスに行くお金がない」ということでした。みんなでカンパしてサンタクルスに行ってもらいました。その後も色々あってハラハラしたもの、なんとか研修に出発できました。

帰国後、早速研修報告のプレゼンをしてもらいました。1か月半の成果とは思えないほど良い内容でした。何より、今後取り組みたい事が彼の中で明確になったようです。「バジェ・グランデはずっとこうだから、仕方がない…」と誰かが言ったとき「そうではない、日本の様に子供たちにしっかりと教育をして仕組みを作っていけば必ず自分たちも良い町を作れる」と答えるのを聞いて、嬉しくなりました。彼に責任ある仕事を任せていく事で、今回の研修で学んだ知識や経験を存分に生かしてもらい、彼自身がさらに成長できるといいなと思っています。



日本での研修で発表をするフロイラン氏（写真左）



◎森の音楽祭◎

2013年8月11日（日）、津市美杉村の山小屋で「森の音楽祭」を開催しました。

DIFAR 国内事務局が、日本に住む中南米の人たちと一緒に山の自然と音楽を楽しもうと企画した初めての試みでした。小川の流

れる山の中、160人余りの参加者で賑わいました。石窯で焼いたサルテーニャ、ピザに加え、コーヒー、飲み物、焼きそば、野菜や DIFAR の物品販売などの店ができました。各種の音楽演奏を聞きながら、各自思い思いにリラックスして過ごされたようです。この日のために作ったツリーハウスは、そこにいと川風が上がってきて、とても気持ちよかったです。最後に みんなが輪になって踊ってボリビアのフィエスタみたいに楽しかったです。事前準備から当日の運営は、たくさんボランティアに支援をしていただきました。事故やけががなく無事にイベントが終えられたことを感謝します。今回南米の方の参加は少なかったのですが、次回はもっとたくさんの三重で働く海外の方に参加していただけるよう、取り組みたいと思っています。（瀧本規久子）

◎堆肥作り講習会◎

8月27日には、ボリビアに旅立つ直前の広美さんと DIFAR 国内事務局スタッフ対象に堆肥作り講習会が開かれました。講師をしてくださったのは橋本力男先生です。（写真右が橋本先生です）



「発酵と腐敗って何が違うの?」、「良い堆肥ってどんな堆肥?」などなど先生の質問に参加者一同タジタジ…わかっているようでわかっていなかった堆肥作りについて、科学的に学ぶことのできた実りの多い2日間でした。DIFAR が活動していたコマラパ、現在活動中のバジェ・グランデでは市レベルで生ごみ堆肥作りが実施され、循環型社会への取り組みが進んでいます。ボリビアでできていることを日本ができていないこの現実…。まずは自宅の畑で堆肥作りを始めてみます。（国内事務局ボランティア・井出教子）

2014 年版 DIFAR カレンダーについて

DIFAR 国内事務局・瀧本規久子

去年に続いて今年もカレンダーを作りました。浦田広美さんが協力隊員時代に撮ったボリビアの自然や人々、お祭りの写真などを使っています。レイアウトは去年も手伝ってくれたデザイナーの堀井さん。今年は紙を上質にして、去年の 2.5 倍の 1000 部印刷しました。日本とボリビアの両方の祭日、新月と満月を入れています。ボリビアまでスーツケースに 100 部のカレンダーを詰めて届けて下さった御所野さん。沖縄のフェスタで販売して下さった真栄城さん、仕事先で声をかけて下さった鎌田さん、田辺さん、ボリビア協力隊 OB の方々は、まとめて購入して下さった方が多かったです。「どれだけ買えばいいの？」と逆に問いかけて下さった吉田さん、沢山のボランティア精神に支えられて販売することができました。私自身も電話などで声をかけ、久しぶりだねとカレンダーを売るという目的を忘れるほど懐かしい人と話すこともできました。今年の活動資金として活用されます。あと、10 部ほど残っています！！気軽に事務局までお電話かメールで注文してください。日本とボリビアをつなぐ架け橋になりますように。

1 部 500 円と送料です。

Tel & Fax 059-212-0154 携帯 090-9181-4554 E-mail: info@difar.jp

:: :: :: :: :: コラム スタッフの一言 「井出教子さん」 :: :: :: :: ::

2013 年 6 月にボリビアから帰国した元青年海外協力隊員です。ボリビアで JICA スタッフの方に里子さんの活動を紹介していただいたのが DIFAR との出会いでした。その後 DIFAR の活動を知りたいと思い他の隊員たちとコマラパを訪問し、生



ごみのコンポスト化や資源ごみのリサイクルが人々の生活に定着しているのを見た時はとても驚きました。ボリビアでこういった変化を起こしていくのはとても難しいこと。それを実現した DIFAR ってすごい！その時の感動が基になって、今は微力ながら国内事務局の仕事にボランティアとして参加しています。ボリビアから繋がったステキな皆さんとの出会いにも感謝です。これからもよろしく願いいたします。

◎DIFAR のホームページを開設しました◎



アドレスは <http://difar.jp/> です。
ホームページでは、ボリビアで活動する里子さんや広美さんからの現地レポートに加え、ボリビアの風景や食べ物についてなども紹介しています。その他、活動紹介の DVD や、国内事務局からのお知らせなども見ることができます。また、過去に発行された DIFAR 通信も今後はホームページ上で見るできるようになる予定です。DIFAR の最新ニュースをぜひチェックしてみてください。(まだ製作途中です。少しずつ充実させていきます)

◎3月に、浦田広美さんの活動報告&ミニコンサートを開催します◎

JICA のインターン制度で、昨年9月からボリビアの DIFAR の生ごみリサイクルプロジェクトに関わってきた浦田広美さんが3月に帰国します。

現地での活動の様子や成果、今後の展開についての報告会と、お連れ合いのミゲルさんとの音楽セッションのミニコンサートを東京・名古屋・津の3ヶ所で開催予定です。詳細は決まり次第、ホームページや facebook でお知らせします。

活動への支援のお願い

ボリビアでの活動、日本の声を届けるためにも、資金が必要です。会員になって活動を支えてくださる方を募集しています。皆さまのご協力をお願いいたします。

{会費}

正会員 5000 円/年 (会の議決権がある)

賛助会員 (個人) 3000 円/年 (会の議決権はありません)

賛助会員 (団体) 5,000 円/1 口/年

{寄付} 随時 いくらでも、切手も可、マンスリーサポーター毎月 1000 円から

振込先 郵便振替口座 00890-0-122793 トレ デイファル

三菱東京 UFJ 銀行 店番 450 普通口座 0649345 DIFAR

.....NPO 法人 DIFAR 事務局 〒515-3421 三重県津市美杉町八知 1383.....

Tel & Fax 059-212-0154 携帯 090-9181-4554

HP: <http://difar.jp/> <https://www.facebook.com/difarnpo>

E-mail: info@difar.jp ML : npo-difar-owner@ml.difar.jp

